

Hantagawa

繁多川

発刊:那覇市繁多川公民館 〒902-0071 沖縄県那覇市繁多川4丁目1番38号

Tel:098-917-3448 Fax:098-835-4903

ホームページ「五恩の風」< <http://www.hantagawa-kominkan.com/> >

スcoop! 「英国テレビ局チャンネル4が繁多川へ!!!」



< 繁多川豆腐料理を取材中! 世界へ発信! >



< 世界で有名なジェイミー・オリバーさんと >

英国テレビ局チャンネル4が繁多川公民館に来館。これは世界的に有名なイギリス人シェフ「ジェイミー・オリバー氏」司会の世界の健康的な食事を紹介する番組の収録で、なんと繁多川の豆腐に着目してはるばるイギリスからやって来た。

6/3(水)に収録が行われ、繁多川の長堂豆腐店を取材後、公民館にて「豆腐づくりすぐりむん」や「まーさむんつくやーすぐりむん」の方々と交流しながら豆腐料理を召し上がった。繁多川の豆腐を食べたオリバー氏は「世界で一番おいしい豆腐!」と言って感動していた。

この番組は、秋にイギリスで放送後、なんとヨーロッパでも放送されるとの事。繁多川豆腐は世界へ羽ばたく!

「戦後70年、今を考える」



< 戦前・戦後の写真を真剣に見入る >



< 座談会にはたくさんの方々に来館 >



< オキナワグラフからの取材 >

5/8(金)~6/25(木)公民館2Fロビーにて、戦後70年特別写真展『1951摩文仁の丘に見る戦後70年~沖縄県庁・警察部職員が祭られている「島守の塔」除幕式・第1回慰霊祭を通して~』を開催。また、関連企画として、5/9(土)に当時の関係者や親族の方をお招きした座談会も行い参加者からは、「県民のために尽力した島田知事、荒井警察部長のことを県民としてもっと知らなければならない。」「関係者の方の話を聞けてとても感銘を受けた。若い世代にも伝えていきたい。」等の声をいただいた。

進学支援サポート「下宿事業モデルケース」スタート!



< 新しい家族と共にパチリ! >

高校のない地域や離島、または高校から遠い生徒達が学校に進学、通学するのを支援する「下宿事業モデルケース」がスタート。この事業は、学校から遠く通学するのが大変な子ども達と、空き部屋があったり、人手が足りない、などの学校に近い地域の方々とを結ぶ事業。

今回は、沖縄工業高校在学中の6人(うるま市、宮古、与那国出身)の子ども達を対象にスタート!

~繁多川公民館 館長 南信乃介 の談~

『ただ一緒に暮らすだけでなくルールを設け、台風時の片付けや買い物代行など身近な生活支援を高校生は担います。大家は、頼れる大人として相談にのり生活習慣を整え、場合によってはご飯を提供します。また一緒にご飯を食べる、あいさつをすることも共通ルールとしています。「ただいま」というと「おかえり」という言葉が交わされる豊かな時間を、地域の中で大切にしたいと感じます。』

利用者が先生! 夏休み特別企画「火おこし体験」



< 一生懸命火をおこす子ども達! >

7/31(金)、繁多川公民館1階広場にて、利用者が先生! 夏休み特別企画「火おこし体験」が行われ、20名以上の親子参加者で賑わった。

まずは、繁多川すぐりむんが登場。火おこしのコツや注意事項を伝え、子ども達は4グループに分かれた後、早速火おこしをスタート! すぐりむんのアドバイスに耳を傾けながら、みんな汗を流し一生懸命火おこし! 火おこし! ひたすら火おこし! 素早く出来たグループはすぐに火種をドラム缶へ。薪を足しながら火の勢いを落とさないよう見守った。最終的には、全グループが火を興すことができ、その後は、お楽しみの焼きジャガイモを美味しくいただいた。

火は、今では身近なものだが「先人たちは大変な思いをして火をおこしたんだ」と身をもって知ることができた今回の体験。『何をするにもまず動く!』ということが分かった貴重な体験だった。

以下アンケートより、一部抜粋

- ・新しい友達ができ楽しかった! ・原始人の気持ちが分かった!
- ・もし来年参加できたら今度は先生側でやりたいです! ・来年はもっと早く火をおこしたい!

「第17回識名園友遊会」始動！


毎年、世界遺産「識名園」で行われている「識名園友遊会」の第1回実行委員会が6/29(月)に真和志支所にて行われた。今年は、11/22(日)に開催を予定している「第17回 識名園友遊会」。前は3,000名を超える来園者があり、毎年どんどんスケールアップしている。

今年も「真和志地域の若者への文化継承、発表の場として更には地域活性化を目指し頑張っていきましょう」と、識名園友遊会 玉井栄良 実行委員長より挨拶があった。会では、事務局 西平(繁多川公民館)より前年度の実績報告、今年度の提案がなされた。その中で、前年度より会の目玉として企画された創作史劇「大琉球識名御殿絵巻」の更なるスケールアップや、新しく増えるプログラム、それに伴う組織力向上の為の提案が示され、活発な意見提案がなされた。

「第17回 識名園友遊会」

日 時・・・平成27年11月22日(日) 11時予定

場 所・・・世界遺産国指定特別名勝「識名園」

※識名園友遊会は昨年度よりFaceBookページも開設！是非「いいね！」を押して情報をチェックしてください！

へ実行委員を務める自治会長の皆様へ

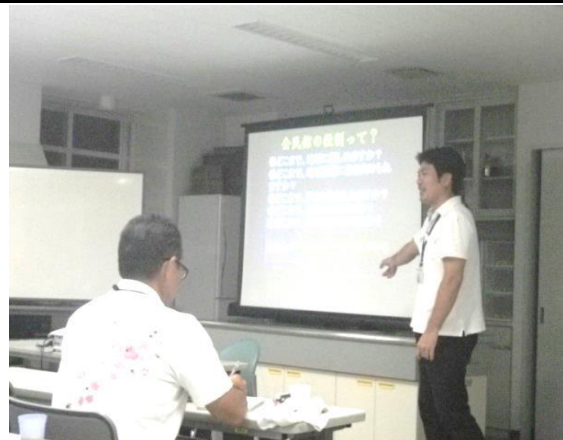


「新しい地域 ・ 公民館について考える！」

「ISAMIASHI(勇み足)」テーマ

この1歩は
小さな1歩だが
社会にとって
大きな1歩になる
かもしれない

～7月7日(火) 繁多川公民館にて～



＜最終報告者の大城の熱弁！＞



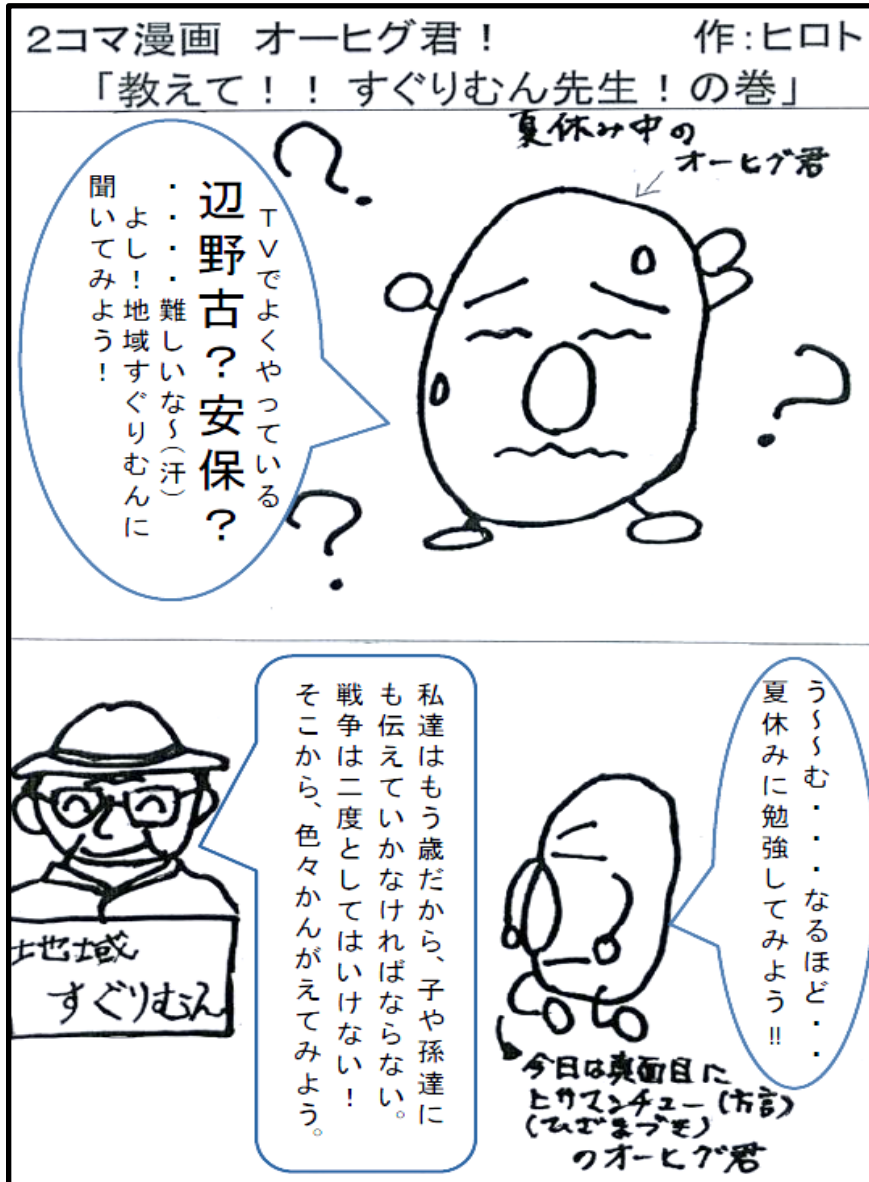
＜左より、報告者 西平・上里、司会は上原＞

県内・県外で行われる研修会に参加した職員による報告会「ISAMIASHI(勇み足)」がNPO法人1万人井戸端会議(繁多川公民館)、NPO法人地域サポートわかさ(若狭公民館)の主催、FLAME9協力のもと行われた。報告会には、市や県の職員、更には他NPOスタッフなど多数の参加者が訪れ、地域づくりに対する関心の高さがうかがえた。

発表者は、今年5月に開催された「中国・四国・九州生涯教育 実践交流会」に参加した上里春香、西平博人(ともに繁多川公民館)と、国立社会教育実践研究センター主催「公民館職員専門講座」に参加した真喜屋志保(若狭公民館)、大城健正(繁多川公民館)の4名。地域創生起点として公民館の役割や各地の先進事例等、研修で学んできた事を多くの皆さんと共有した。報告会では美味しいカレーも振る舞われ、盛況に閉会した。

【以下アンケートより、一部抜粋】

- ・4名のそれぞれ研修で得たものが感じれたのでヨカッタです。
- ・若い人がもっと地域に関心を持たなければいけないと思いました。
- ・皆さんの学んできた事をぎゅっと集約した話を聞いた。学んだことを業務に活かしたい。



～公民館まつり開催日決定のお知らせ～

10周年の節目を迎える繁多川公民館。記念式典及び公民館まつりの開催日が決定しましたのでお知らせいたします。



平成28年1月23日(土)前日準備
平成28年1月24日(日)本番当日

地域の皆様へ

先日行われた『繁多川夏まつり』において Jrボランティアが販売を行った『焼き鳥・カップケーキ』をご購入いただき誠にありがとうございました。アンケートをお持ちの方は公民館までご持参いただくと幸いです。

繁多川公民館青年講座 Jrボランティア一同

※『すぐりむん』とは地域において、豊富な専門知識・技能そして、創意工夫と智慧に満ち溢れた活動を実践されている方。